

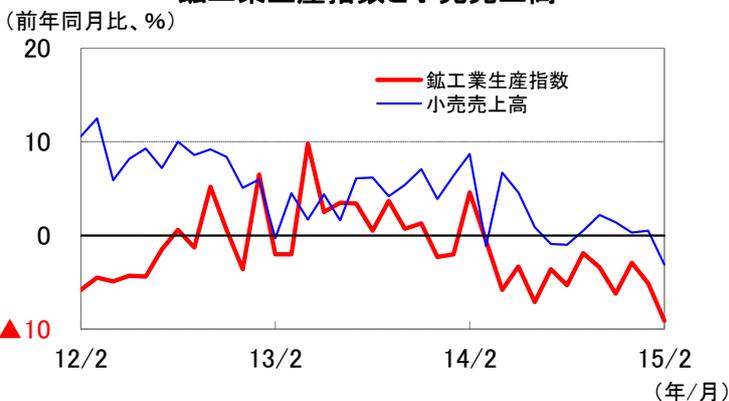
## 今日のトピック 最近の指標から見るブラジル経済(2015年4月) 物価抑制や財政再建への取り組みが進む

### ポイント1 生産、消費ともに低迷

利上げや外需の弱さが影響

- 2月の鉱工業生産指数は前年同月比▲9.1%と、12カ月連続のマイナスになりました。また、同月の小売売上高は同▲3.1%とマイナスに転じました。物価高や利上げの影響などから企業景況感や消費者信頼感が足元で落ち込んでおり、生産、消費ともに低迷しています。
- 3月の輸出は同▲3.7%と、8カ月連続のマイナスになりました。中国向け(全体の14.5%)が1月～3月合計で前年比▲35.4%と大きく落ち込むなど、外需は全般に弱い状況です。

鉱工業生産指数と小売売上高



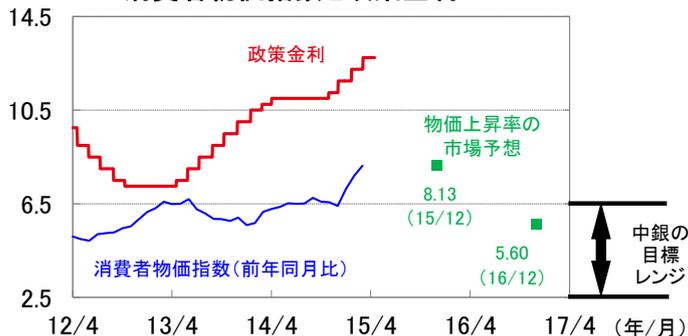
(注)データは2012年2月～2015年2月。  
(出所)Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 中銀は利上げを継続

電気料金等の値上げが物価を押し上げ

- 3月の消費者物価指数は、前年同月比+8.13%となり、2014年12月の同+6.41%を直近の底として3カ月連続で上昇しました。財政再建のための増税、補助金の削減、公共料金の引き上げが物価を押し上げています。住宅向け電気料金は同+60.4%上昇しました。
- ブラジル中央銀行(以下、中銀)は、昨年10月から3月まで4会合連続で政策金利を引き上げています。物価上昇率が目標(年+2.5%～+6.5%)の上限を大幅に上回っており、市場では中銀が次回会合(4月28日～29日)でも政策金利(現行12.75%)をさらに引き上げると見込まれています。

消費者物価指数と政策金利



(注)政策金利は2012年4月1日～2015年4月16日。  
消費者物価指数は2012年4月～2015年3月。  
物価上昇率の市場予想は、中銀が4月13日に発表した調査結果。  
(出所)Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 財政再建に向け政府と議会が協力、企業・消費者心理の改善に期待

- 国際通貨基金(IMF)は14日に発表した世界経済見通しで、ブラジルの2015年の経済成長率を▲1.0%と、1月の予想+0.3%から大幅に下方修正しました。干ばつ、金融・財政引き締め策、石油公社を巡る汚職問題を景気の低迷要因として指摘しています。
- ルセフ大統領は3月下旬、財政再建に向けあらゆる手段を講じると発言しました。これに対し議会の指導者は協力姿勢を示しています。政府と議会は汚職撲滅でも協力する方向です。これらは、中銀の物価抑制への取り組みとあわせて、企業や消費者の信頼感を改善させ、景気持ち直しにつながる事が期待されます。

ここも  
チェック!

2015年04月03日 ルセフ政権、財政と景気の再建へ(ブラジル)  
2015年03月26日 ブラジル中銀がリアル買い介入の追加を停止

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。